

各 位

三井住友信託銀行株式会社

## 「2022 J-Win ダイバーシティ・アワード」ベーシック部門 準大賞を受賞

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、本日、特定非営利活動法人ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク(略称:NPO 法人 J-Win)※1 が主催する「2022 J-Win ダイバーシティ・アワード」において、企業賞のベーシック部門にて準大賞を受賞しましたのでお知らせします。



この表彰制度は、日本企業におけるダイバーシティ&インクルージョン(以下「D&I」)推進の加速を目的に2008年から毎年実施されており、今年で15回目を迎えます。後援として、内閣府、経済産業省、経済同友会などが参画しています。

今回の受賞は、当社が「個々人の多様性と創造性を経営に活かす」というD&Iの概念そのものを経営理念(ミッション)として有しているとともに、個々人の多様性と創造性が組織の付加価値として十分に活かされることを基本方針として活動していることなどが評価されたものです。

### <評価された施策・取組み>

#### 1. 経営トップのコミットメント

- ・ 「多様な社員の相互作用で独自の付加価値を創出する源泉」であるD&Iの推進は自社のDNAであるという考えを社員に繰り返し発信
- ・ 人事部(D&I推進室)と各事業統括部の両輪でD&Iを推進
- ・ 2030年女性店部長比率30%という社内目標を設定

#### 2. 女性の育成

- ・ 「サポーター役員制度」※2の導入(2021年10月～)。対象者は将来の役員、店部長候補の女性社員(調査役以上)で、初年度は40名、来年度60名、3年で累計160名の規模を予定

#### 3. 男性の意識改革

- ・ 2019年に男性育児休業取得率100%を達成し、定着。「男性育児休業1ヶ月取得」の推奨にむけて環境整備と制度の見直しを実施

当社は、「信託の力」を発揮し、お客さまや社会に対して新しい価値創造を続けていくために、D&Iの取組みを一層加速させていきます。

(※1) 企業におけるダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援することを目的に、2007年4月に設立された企業メンバー制の団体(参考URL)<https://www.j-win0.jp/>

(※2) 役員がサポーターとして、直接女性社員の育成を行い、メンタリング(個別面談)や勉強会等の開催を通じて、店部長や役員に必要な幅広い知識や経験の習得、人脈の構築を図り、女性店部長への引き上げを加速させる制度

以上